

中山 11 発走 15:45

第87回中山記念(GII) (WIN5対象レース・5)

Table with columns for race number (11), horse name, jockey, trainer, and various performance statistics.

①中山で重賞勝ち ナカヤマナイトは中山で重賞勝ち... タッチミーノットは中山で重賞勝ち...

1分45秒1③着。乗り難いタイプだが、56キは魅力があったAJCC杯快勝。⑤着以下は2回だけの安定株。スマイルジャックは東京向き

印象強いが、皐月賞⑥着を含め中山(121)で前走59キから3ヶ月差で穴候補。シンゼン⑨着・6年在オールドカマー③着があるが、10歳馬で急な一変まではどうか。

②その他の馬 リアルインパクトは昨年③着馬。前走負けすぎの感あるが、ダイワフアルコンはG1除く中山(5313)で昨年⑨着

Table with columns for horse name, jockey, and various performance statistics.

Table with columns for horse name, jockey, and various performance statistics.

Table with columns for horse name, jockey, and various performance statistics.

賞1800 桜1分44秒9 サクラブリデント 57 7歳 16年2月29日

成績の見方 ①5中⑩12.24 有馬G⑤1.9 有馬G⑥1.9 有馬G⑦1.9 有馬G⑧1.9 有馬G⑨1.9 有馬G⑩1.9

※ベース表記は... ①1着または2着馬名

本紙の見解 成長確かなバラード ダノンバラードは、デビュー3戦目で重賞を制した素質馬。しかしその後の成長はスローで、本格化気配を示したのとは対照的に、一戦挟んでAJCCを直線モタレながらも快勝。コースと距離の適性は十分で、勢いに乗っての連勝に期待。絶対調子のタッチミーノットが相手。(波乱含み)

馬単 12→14 12→15 12→10 14→15 12→9 12→2 12→8

3連複 121415 101214 91214 81214 101215 91215 81215 101215 91215 81215

以展開 (もともとイン有利のコースで開幕。内博の2、ビュイックの4は好位で流れに乗れば見せ場以上。1415は外を回ると?)

泊木の復讐 7歳タッチミーノットは、まがピークかと思える完成期。千八51(前)秒差が示す冠の1千八に近い距離。中山なら自在に動け、57キも魅力。



大川浩史

これ決まり

千二のスローで掛かった
 今年のシルククロードSは奇妙なレースだった。前半が上り坂で後半が下り坂+平坦の京都芝千二とはいえず、重賞で前後半3秒0-33秒6。といっても千二で超スロー。は今や珍しくも何とないのだが、超スローなのに皆で必死に抑えて半数以上の馬が引っかかっていた。
 理由(原因)は何となく分かる。

編長の爪

先週のフェブラリースには7歳以上のベテランが史上最高の「9頭」も出走していた。
 5歳馬グレイブブランデーの上昇度に屈したものの、8歳エスポワールシチーが②着。7頭も出走していた7歳馬は、4、6歳馬を蹴散らして③、⑨着にただけ込んできた。⑩、⑮着が4、6歳馬だった。
 あれは世代レベルによるものだが、中山記念は再三再四リビーターがくるように、ベテランに要注意。最近10年では、7、8歳馬が計4勝もし、馬券に関係した30頭は、若い4、5歳馬「14頭」に対し、6歳以上馬が「16頭(7歳以上が8頭)」という記録がある。
 近年のリビーターの代表は、4歳時から④、④、①着だったカンパニー。同じく4歳春から②、①、①着。だったパラソプゲーム。ローエンダリンは4歳時から①、③、①着だった。7、8歳時に勝っているからすごい。
 古くから中山1800mはスペシャリストの距離とされる。また、秋なら世代構成からしてこうはいかないが、まだ7歳

る。アイラプリリがあれだけ手綱をしょいでハナ切ってるのだから、「実は超スロー」だとは気づきにくい。
 外枠から好位外にいたこともあって、マジンプロスパー(阪神11R)の掛かり方は特に目立った。あれでは伸びを欠いたのも仕方ない。とういうより、そもそも瞬発力勝負では分が悪い。
 昨年の阪急杯は、前後半33秒7-36秒2というハイペースを先行抜け出し。前走の行きたがり方からしても体調は戻っているし、前走から2キロ減の56キロも有利。連覇できるとみた。

以上馬がいっぱい存在する春だから、ベテランはがんばる。
 今年、リビーターに相当は、昨年の「②着シルポルト、③着リアルインパクト、⑨着ダイワファルコン」の3頭。みんな今年の伏兵評価になる。
 8歳シルポルトは衰えた気もして軽視したが、07年ローエンダリンも、09年カンパニーも、8歳時に勝っている。シルポルトも昨年(1分47秒4)の再現があれば残り日はある。
 8歳以上馬が「5頭」も出走し、5、6歳馬も「8頭」もいるのに対し、単独で挑戦は、

④4歳アンコイルド
 ④7歳タツチミノノット
 こちらはリビーターではないが、鞍上が「中山記念巧者」のベテランに当てる。
 アンコイルドの蛭名騎手(43)は、昨年フェデラリストで勝って、通算「22216」。
 タツチミノノットの横山典騎手(44)は、カンパニーの2連勝などで「3311」。
 ほかに、ナカヤマナイトの柴田善騎手(46)が、横山典騎手と並んで現役最多タイの3勝を記録し「30112」。
 特注は10年に③人気のトウセンクラウン、01年はアメリカンボスで快走し「2204」の江田照騎手(41)である。(柏木)



小木曾大祐

中山記念は昨年の②着馬シルポルトに注目。前々走のマイルCが証明しているように、マイルペースのハナなら衰えなし。前走はタイムアウトオタカにハナを譲りましたが、残り800からスタート。かなり苦しい流れを作ってしまった以後に差し込まれましたが、それでも大パテして止まったわけではなく、差はずかコンマ8秒。着順以上に中身の濃い内容です。すんなりハナは確定的、あれよあれよの逃げ切りを狙います。
 もう1頭は非常に追い切りの雰囲気良かった②Rのケイアイクライム。直前は軽く流した感じでしたが、首をグッと下げ柔らかい身のこなしが目立つ好内容。久々でも状態はむしろ前走以上、1着つけて狙います。

病気で検査を受けることが多くなって、そのたびに名前と誕生日を言われる。
 たまにとほけて、「忘れたなんて言って、「ふざけないで」とか叱られるけれど、ほんとに忘れて言えない人もいるのだ。
 2月24日、おれの誕生日なのだ。もう何年も前のことだけど、松山康久厩舎主催の宴会で、2月23日生まれの横山典弘騎手と、2月25日生まれの田中勝春騎手と並んで、誕生日3連単で酒をのんだ楽しい思い出があるな。

数字で言うと自分でもびっくりしちゃうので、「なじゅうろく」と平仮名で言ってみる。
 誕生日の中山記念と阪急杯は、馬単⑦-⑥。3連複と3連単の⑦-⑩-⑥。アハハ、バースデー馬券で遊ぶよ。
 気も小さいし金もないし、遊べない人生だから、そのぐらいしか遊べないのさ。
 中山記念の⑦はスマイルジャック、⑥はルールプロスパー。もし来たらすげえ馬券だ。
 阪急杯の⑦はシュプリームギフト、⑥はオリーブ。これもとんでもない穴狙いになっちゃった。
 思えば人生のときどき、こんなふうにならなくて、いつのまにやら、なじゅうろく。ドウモスマイセンだね。



藤本貴久

中山5Rバロンドウフォル窓から顔を出しバックで駐車しようとしたところドアミラーをたたむボタンと間違えて窓ボタンON!顔が挟まり大パニック!超痛かったあゝあの圧力ハンパないっす。「叩いた今回はキツチリ決める」

「競馬人情 吉川良」
 病院で検査を受けることが多くなって、そのたびに名前と誕生日を言われる。
 たまにとほけて、「忘れたなんて言って、「ふざけないで」とか叱られるけれど、ほんとに忘れて言えない人もいるのだ。
 2月24日、おれの誕生日なのだ。もう何年も前のことだけど、松山康久厩舎主催の宴会で、2月23日生まれの横山典弘騎手と、2月25日生まれの田中勝春騎手と並んで、誕生日3連単で酒をのんだ楽しい思い出があるな。

数字で言うと自分でもびっくりしちゃうので、「なじゅうろく」と平仮名で言ってみる。
 誕生日の中山記念と阪急杯は、馬単⑦-⑥。3連複と3連単の⑦-⑩-⑥。アハハ、バースデー馬券で遊ぶよ。
 気も小さいし金もないし、遊べない人生だから、そのぐらいしか遊べないのさ。
 中山記念の⑦はスマイルジャック、⑥はルールプロスパー。もし来たらすげえ馬券だ。
 阪急杯の⑦はシュプリームギフト、⑥はオリーブ。これもとんでもない穴狙いになっちゃった。
 思えば人生のときどき、こんなふうにならなくて、いつのまにやら、なじゅうろく。ドウモスマイセンだね。